



Flex Signal セットアップ手順書

第4.3版

当社に無断で本資料の掲載内容を転載することをご遠慮下さい。

©2013 Flex Signal

はじめに

本書は、Flex Signal のセットアップ手順をまとめた資料です。

改訂履歴

版	日付	改訂内容
1.0	2014年10月27日	初版
1.1	2015年3月25日	文言修正
2.0	2015年9月3日	インストーラー追加のために手順変更
2.1	2016年6月21日	認証キー発行問い合わせ先メールアドレス追加
2.2	2017年1月6日	インストール作業を行うユーザについての諸注意追加 信号灯の設定について追加
2.3	2017年2月22日	推奨する動作環境について追加
3.0	2017年5月25日	メニュー表示方法変更追加 アンインストール手順追加
4.0	2018年5月7日	推奨する動作環境について変更 IIS の設定に Windows10、Windows Server2016 の手順追加 キャプチャ修正
4.1	2018年6月28日	MENU キャプチャ変更
4.2	2018年8月1日	文言修正
4.3	2018年8月16日	事前準備確認内容追加 よくあるお問合せ追加

目次

1. 動作環境	7
2. セットアップのための事前準備	8
(1) セットアップをする前に	8
(2) セットアップに必要なとなるもの	8
3. IIS の設定	9
(1) Windows7 の場合	9
(2) Windows10 の場合	12
(3) Windows Server2016 の場合	15
4. システムインストール	22
5. システム動作確認	27
(1) システム起動確認	27
(2) ウェブサイト確認	28
6. ライセンス認証	35
7. 信号灯の設定	37
8. アンインストール	38
9. よくあるお問合せ	41
(1) インストール画面の「次へ」が押せない	41

(2) セットアップ完了画面が出てこない	41
(3) インストール完了したのにデータが出てこない	41
(4) 認証に失敗する	42
(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない	42
(6) 他の PC から FlexSignal を見たい	43

セットアップ項目一覧

	No.	セットアップ項目	章
<input type="checkbox"/>	1	動作環境	1.
<input type="checkbox"/>	2	セットアップのための事前準備	2.
<input type="checkbox"/>	3	IIS の設定	3.
<input type="checkbox"/>	4	システムインストール	4.
<input type="checkbox"/>	5	システム動作確認	5.
<input type="checkbox"/>	6	ライセンス認証	6.
<input type="checkbox"/>	7	信号灯の設定	7.
		以上	

※実行した項目にチェックをつけて下さい。

1. 動作環境

インストールするパソコンの環境は下記の物をご確認ください。

「表 1 : 推奨環境」

No.	項目	環境
1	推奨 OS	Windows7、 Windows Server 2008 R2 Windows10、 Windows Server2016
2	IIS	IIS 7.0 以降
3	Framework	.NET Framework 4.5
4	ブラウザ	IE 11 以降 , chrome
5	インストールユーザ	Administrator 権限があるユーザ

2. セットアップのための事前準備

セットアップを行うためには下記が必要です。

(1) セットアップをする前に

下記項目ができていることを必ず確認してください。

「表2：セットアップをする前に確認すること」

No.	項目	
1	送信機－受信機間の通信	<input type="checkbox"/>
2	受信機－インストールPC間の通信（※1）	<input type="checkbox"/>

※1 USB 接続はできません。LAN 接続にてご利用ください。

(2) セットアップに必要となるもの

下記項目がお手元に準備できていることを必ず確認して下さい。

「表3：セットアップに必要となるもの」

No.	項目	説明	
1	FlexSignal セットアップメディア	FlexSignal インストーラーが保存された CD。	<input type="checkbox"/>
2	カスタマーキー	FlexSignal 購入時に発行されるキーです。	<input type="checkbox"/>

※パトライト社製 WDS-AUTO2 との併用は出来ません。FlexSignal ご使用時は WD-AUTO2 を終了してください。

3. IISの設定

(1) Windows7 の場合

1. 「スタート」－「コントロールパネル」を選択して下さい。
2. 「プログラム」を選択して下さい。



「図 1 : プログラム」

3. 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択して下さい。



「図 2 : Windows の機能の有効化または無効化」

4. 下記項目を順にチェックして、「OK」を選択して下さい。

①IIS 管理コンソール

②ASP.NET

③HTTP エラー

④HTTP リダイレクト

⑤ディレクトリの参照

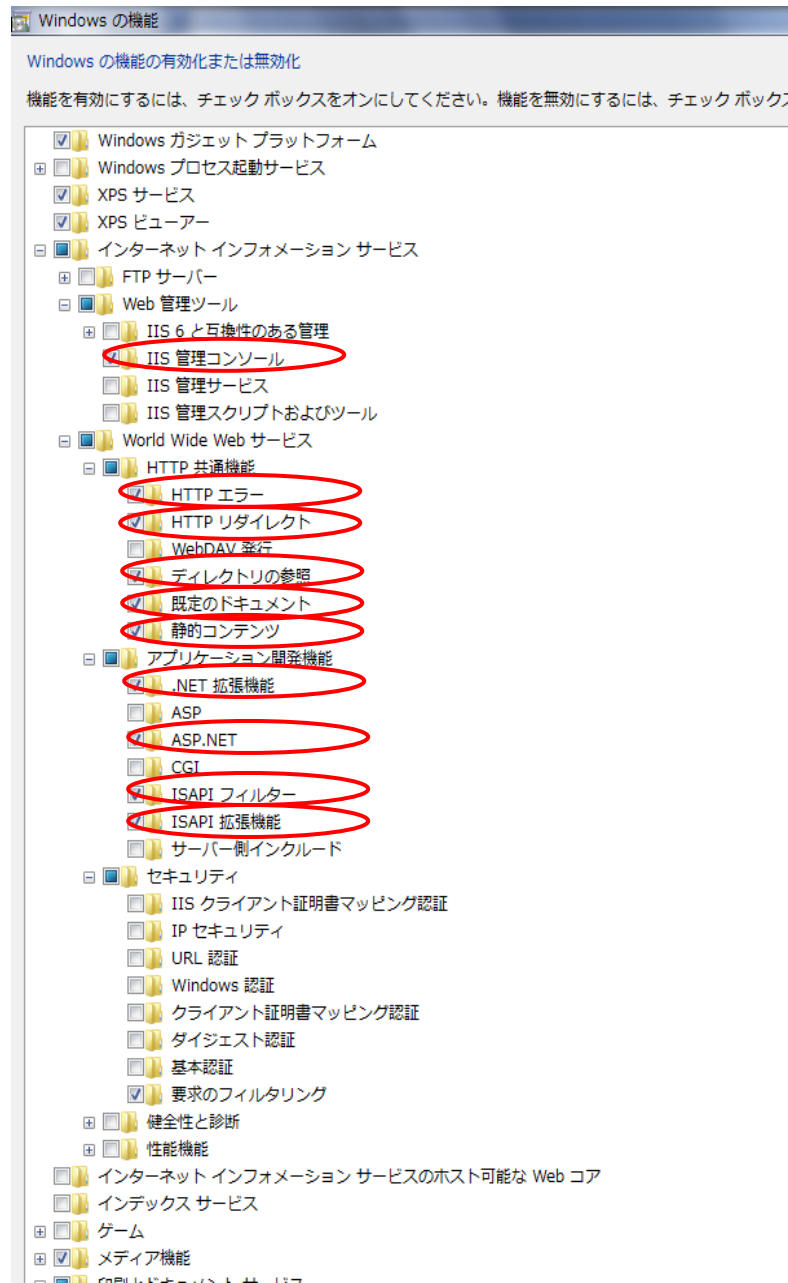
⑥既定のドキュメント

⑦静的コンテンツ

⑧.NET 拡張機能

⑨ISAPI フィルター

⑩ISAPI 拡張機能



「図 3 : IIS 設定対象項目」

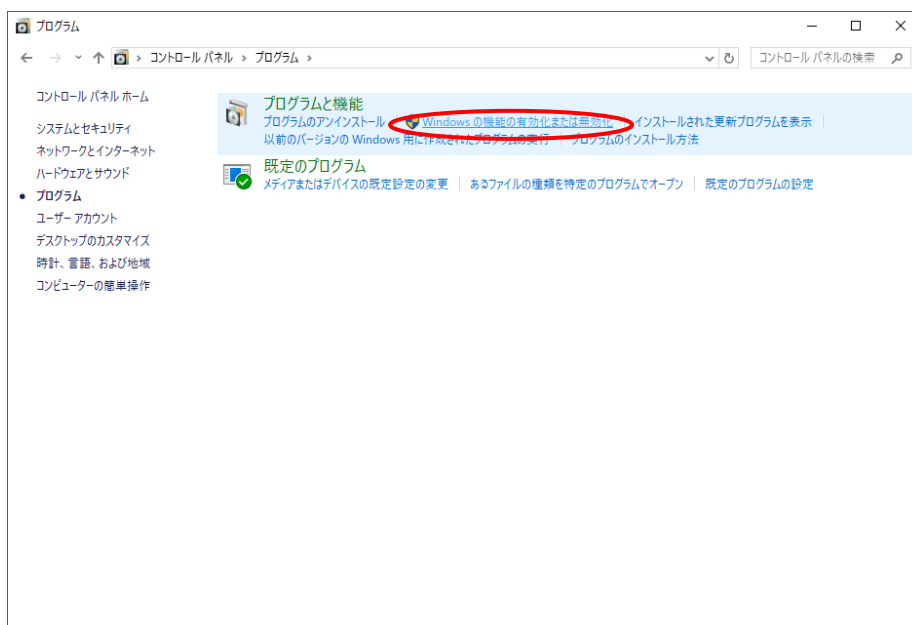
(2) Windows10 の場合

1. 「スタートメニュー」－「Windows システムツール」－「コントロールパネル」を選択して下さい。
2. 「プログラム」を選択して下さい。



「図 4 : プログラム」

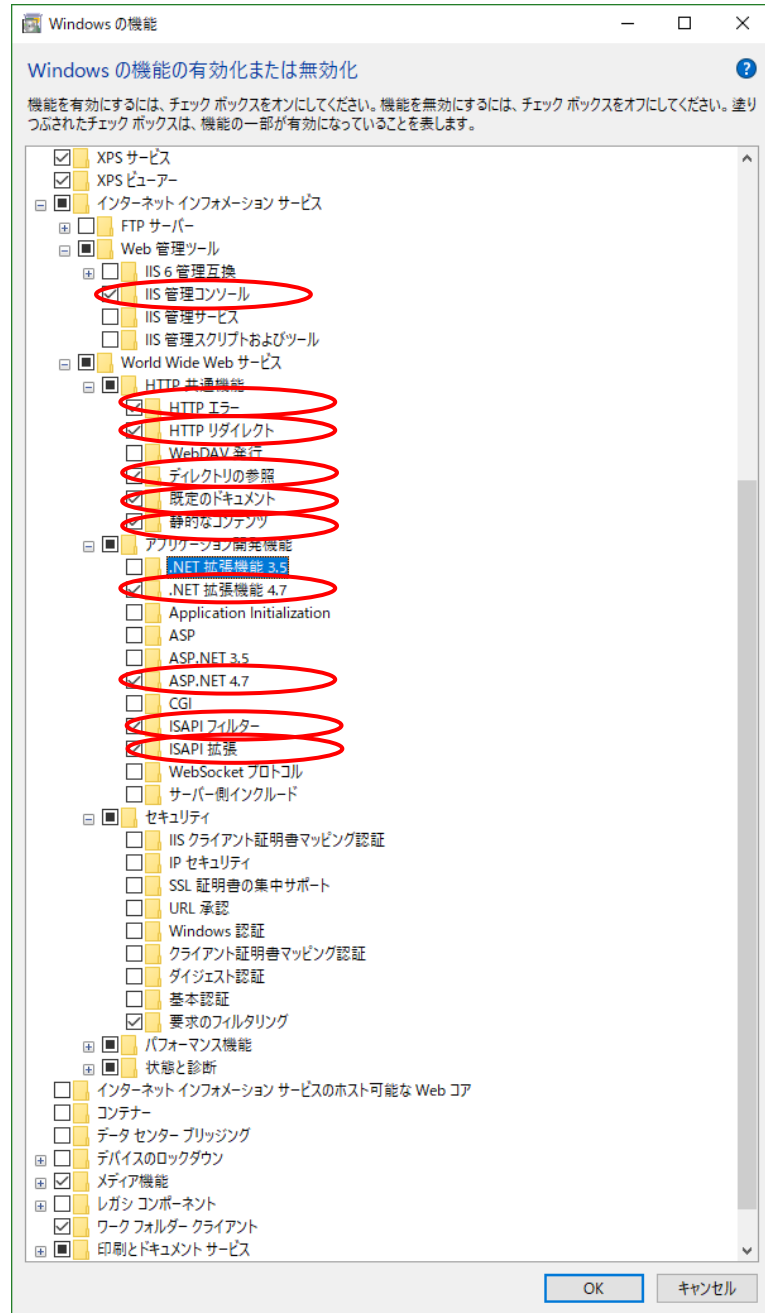
3. 「Windows の機能の有効化または無効化」を選択して下さい。



「図 5 : Windows の機能の有効化または無効化」

下記項目を順にチェックして、「OK」を選択して下さい。

- ①IIS 管理コンソール
- ②ASP.NET4.7
- ③HTTP エラー
- ④HTTP リダイレクト
- ⑤ディレクトリの参照
- ⑥既定のドキュメント
- ⑦静的コンテンツ
- ⑧.NET 拡張機能 4.7
- ⑨ISAPI フィルター
- ⑩ISAPI 拡張機能



「図 6 : IIS 設定対象項目」

(3) Windows Server2016 の場合

1. 「スタート」 — 「Windows システムツール」 — 「コントロールパネル」 を選択して下さい。
2. 「Windows の機能の有効化または無効化」 を選択して下さい。



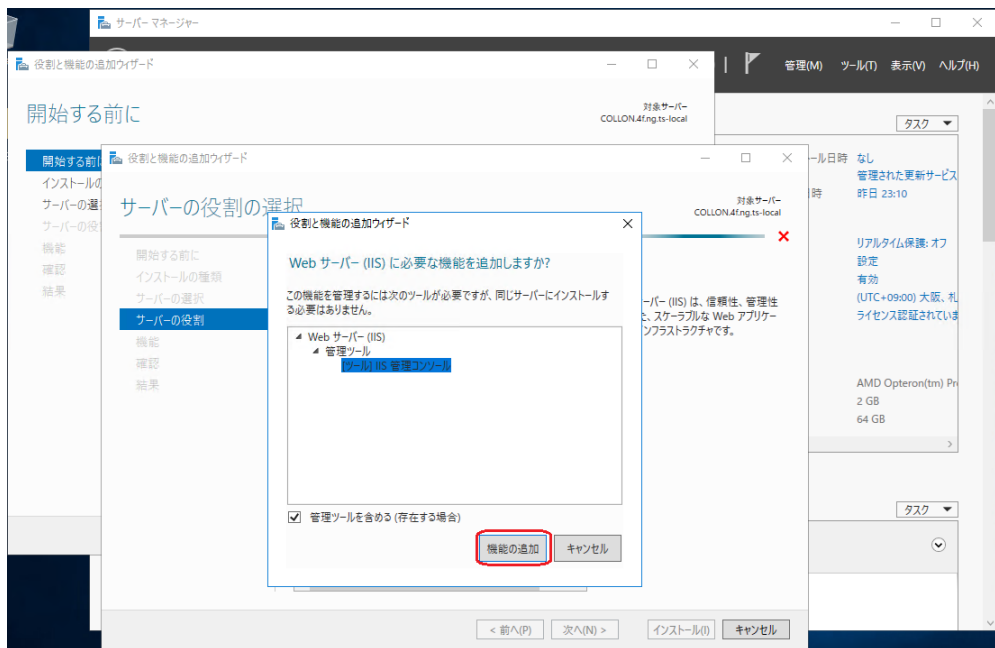
「図 7 : コントロールパネル」

3. 「サーバーの役割」 を選択して下さい。
 ※選択できない場合、一度「サーバーの選択」をクリックすると選択できるようになります。
4. 「Web サーバー」 をチェックし、「次へ」 をクリックして下さい。



「図 8 : 役割と機能の追加ウィザード」

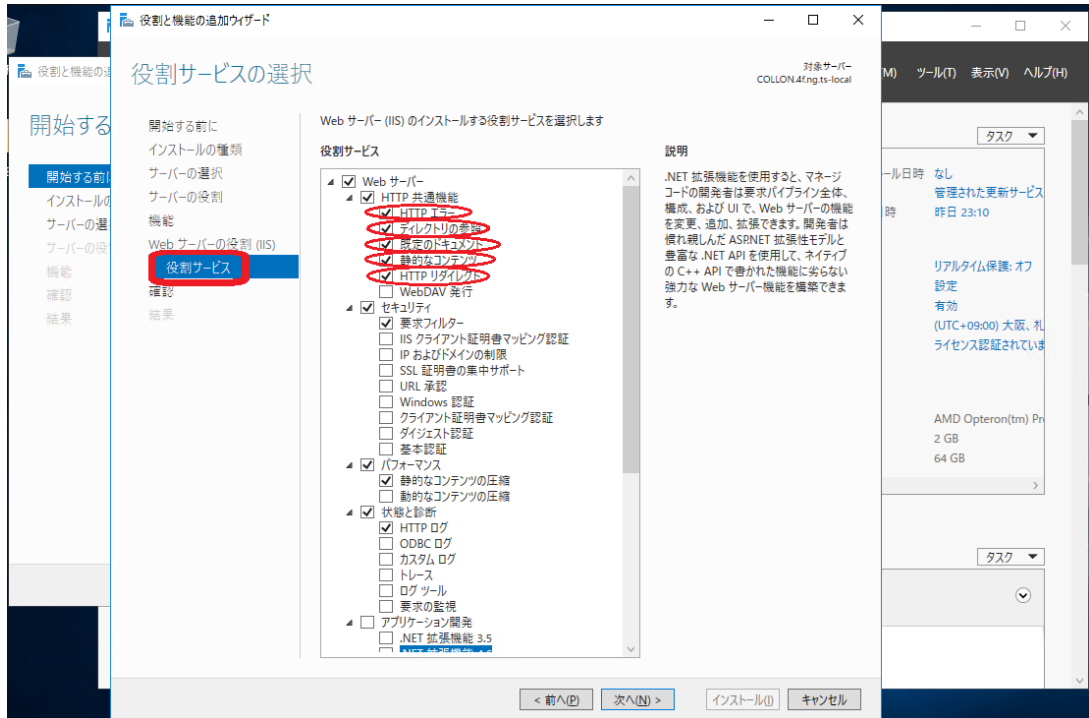
5. 「機能の追加」をクリックして下さい。



「図9：Web サーバーの追加」

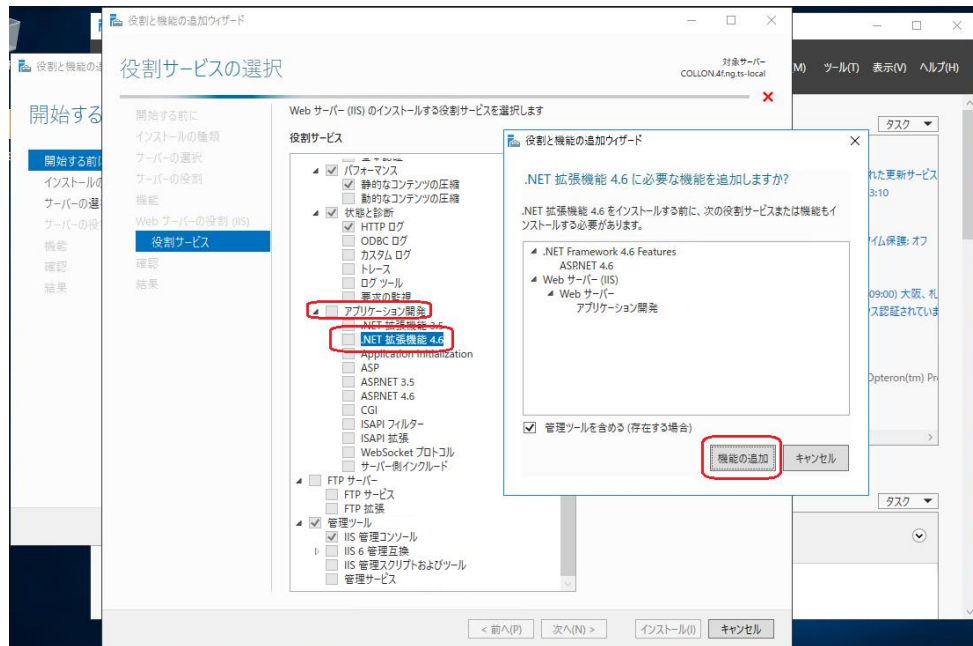
6. 「役割サービス」を選択し、下記項目を順にチェックして下さい。

- ① HTTP エラー
- ② ディレクトリの参照
- ③ 既定のドキュメント
- ④ 静的なコンテンツ
- ⑤ HTTP リダイレクト



「図 10 : HTTP 共通機能の追加項目」

7. 「アプリケーション開発」 - 「.NET 拡張機能 4.6」をクリックして下さい。
8. 「機能の追加」をクリックして下さい。



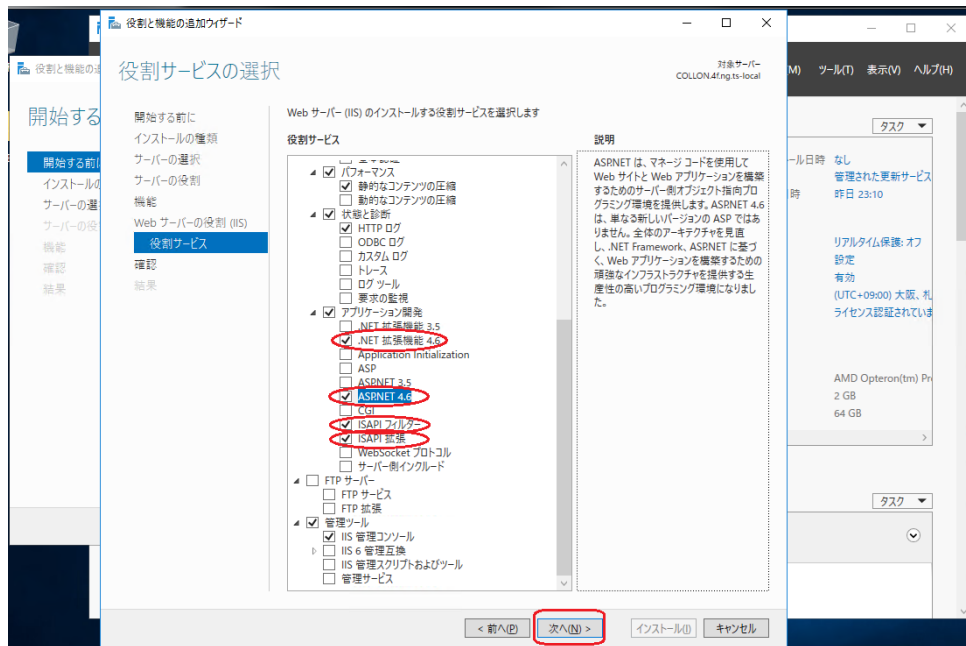
「図 1 1 : .NET 拡張機能 4.6 の追加」

9. 「アプリケーション開発」 - 「ASP.NET 4.6」をクリックして下さい。
10. 「機能の追加」をクリックして下さい。



「図 1 2 : ASP.NET 4.6 の追加」

11. 「次へ」 をクリックして下さい。

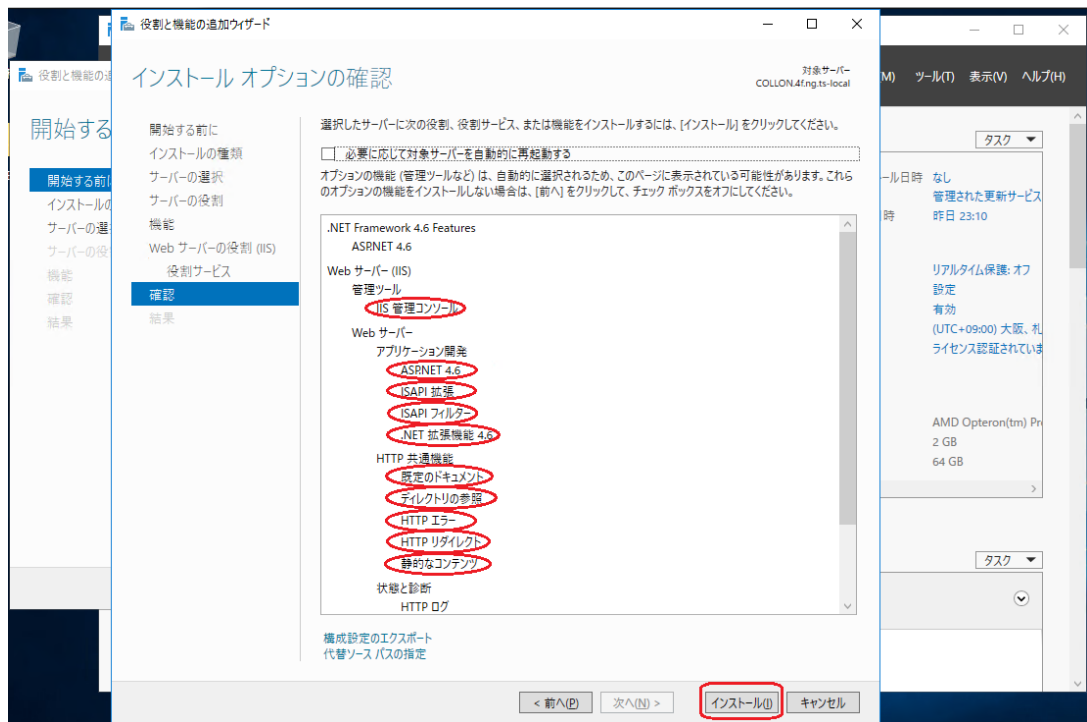


「図 1 3 : アプリケーション機能の追加項目」

12. 下記項目が選択されているか、確認してください。

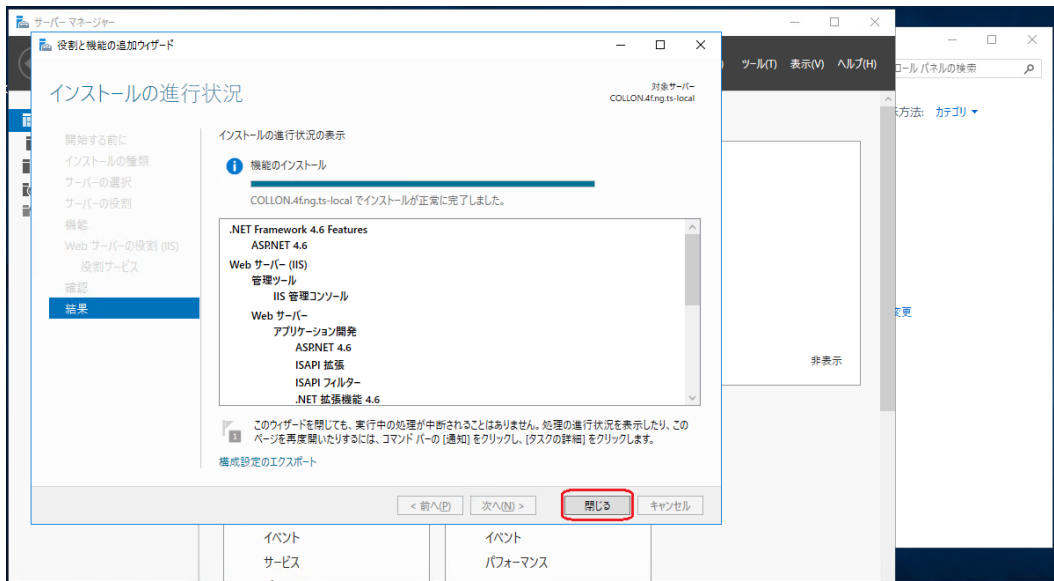
- ① IIS 管理コンソール
- ② ASP.NET
- ③ ISAPI 拡張
- ④ ISAPI フィルター
- ⑤ .NET 拡張機能 4.6
- ⑥ 既定のドキュメント
- ⑦ ディレクトリの参照
- ⑧ HTTP エラー
- ⑨ HTTP リダイレクト
- ⑩ 静的なコンテンツ

13. 「インストール」をクリックして下さい。



「図 1 4 : インストール確認」

14. インストールが完了したら、「閉じる」をクリックして下さい。



「図 1 5 : インストール完了」

15. 「インストール」をクリックし、完了したら「閉じる」をクリックして下さい。

4. システムインストール

1. セットアップメディアを PC に挿入して下さい。

挿入後「FSSetup_x.x.x.x.exe」の実行を選択すると「図 1 : セットアップ画面」が起動します。

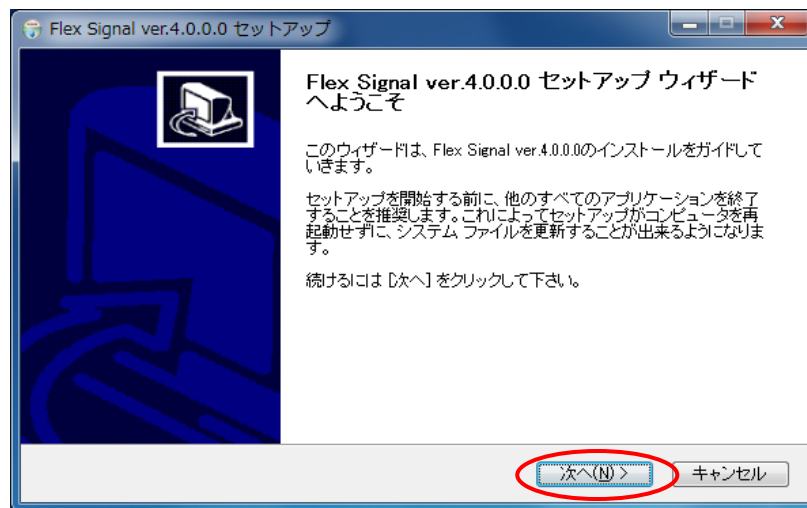
※管理者権限ありのユーザで行って下さい。

※選択画面が表示しない場合は、セットアップメディア内の「FSSetup_x.x.x.x.exe」を選択して下さい。

※選択するファイルの名称「FSSetup_x.x.x.x.exe」の x には数字が入ります。

(例 : 「FSSetup_2.0.0.0.exe」)

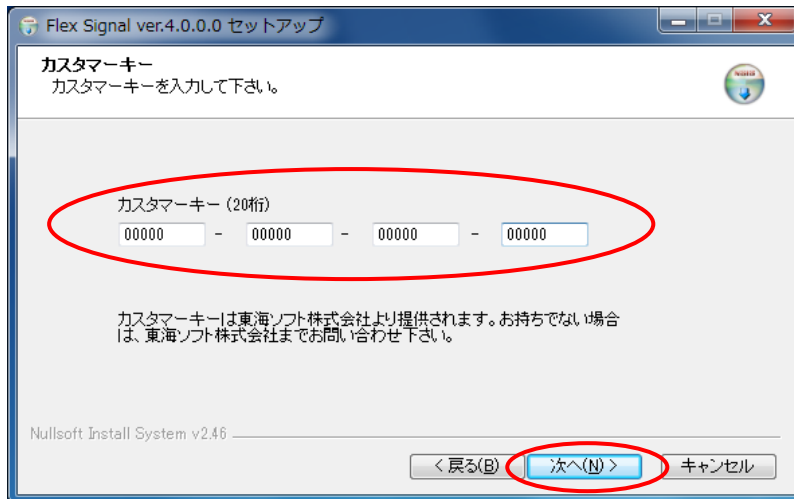
2. 「次へ」を選択して下さい。



「図 1 : セットアップ画面」

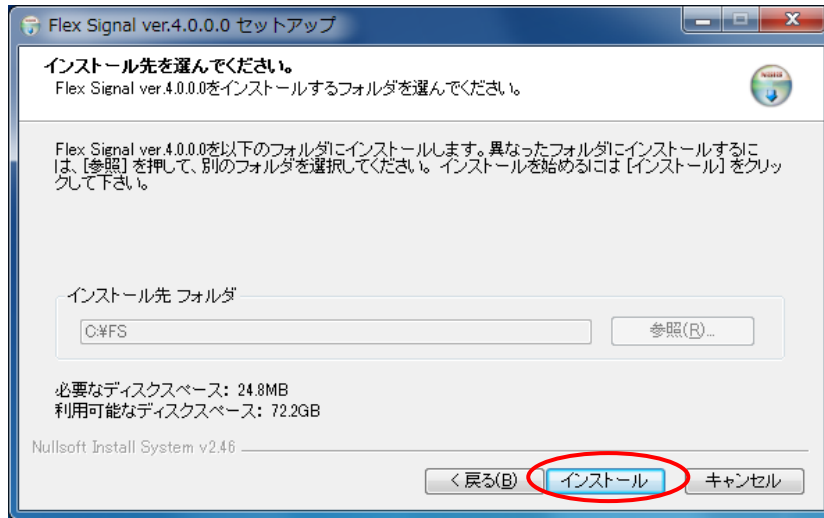
3. カスタマーキーを入力し、「次へ」を選択して下さい。

※ライセンス認証済みの場合は、「図2：セットアップカスタマーキー入力画面」は表示されません。



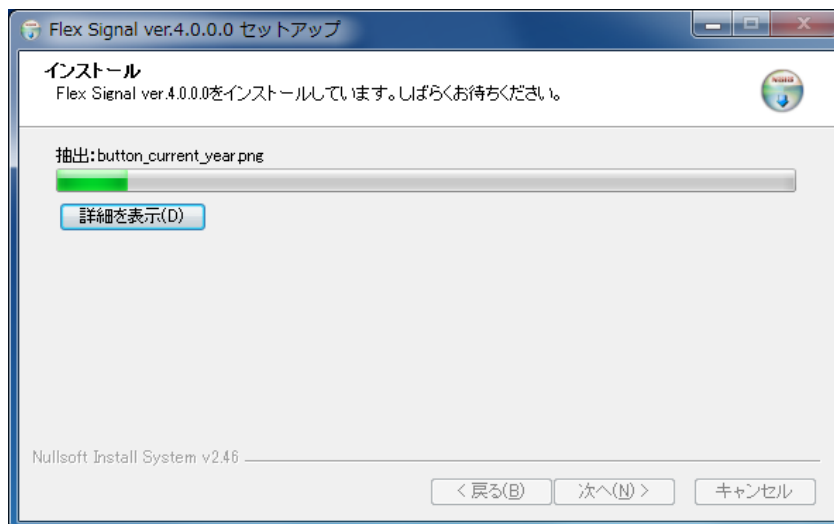
「図2：セットアップカスタマーキー入力画面」

4. 「インストール」を選択して下さい。



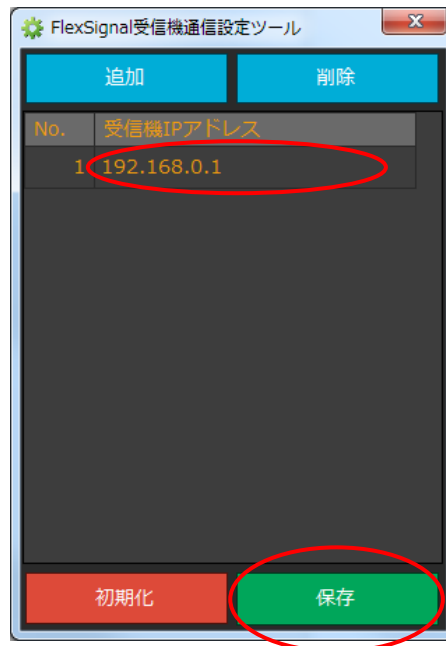
「図3：セットアップインストール先画面」

5. インストールが始まります。



「図4：セットアップインストール中画面」

6. インストールの途中で、「FlexSignal 受信機通信設定ツール」が起動します。ご使用の受信機 IP アドレスを入力し、設定を保存してください。



「図 5 : FlexSignal 受信機通信設定ツール」

後ほど行う場合は、そのまま「×」で画面を閉じて下さい。

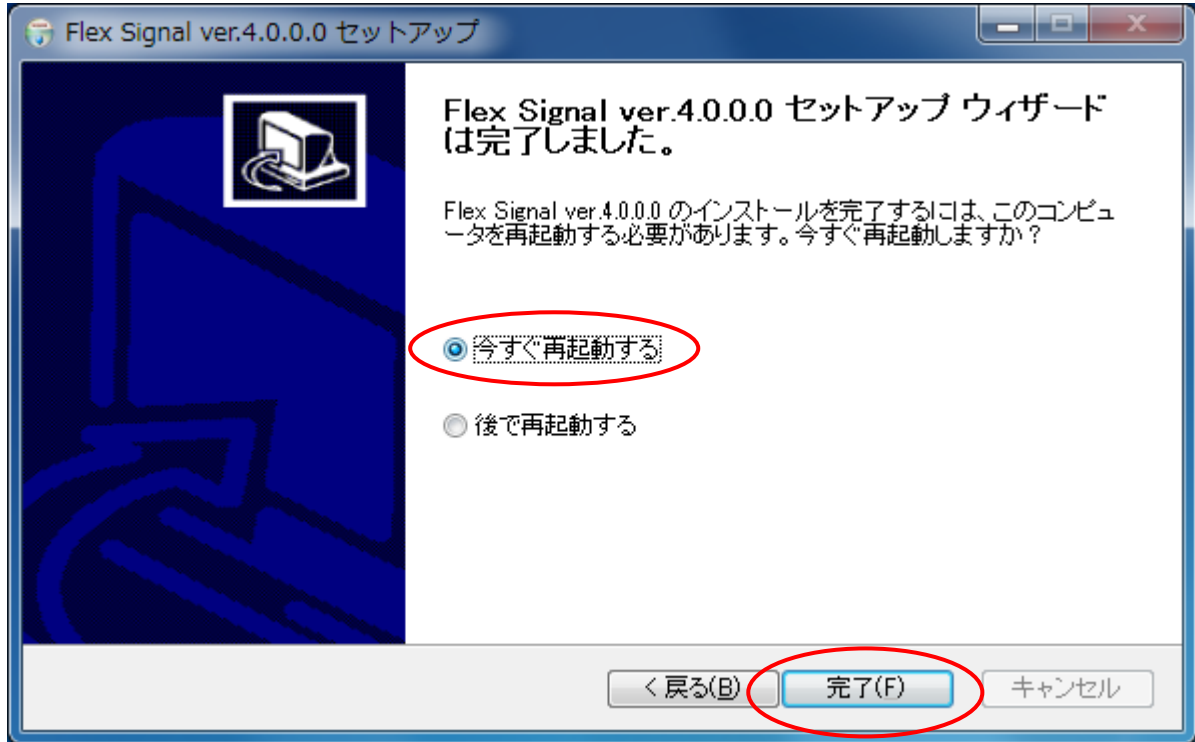
※FlexSignal 受信機通信設定ツールについては「FSConfManager Manual」をご確認下さい。



「図 6 : FlexSignal 受信機通信設定ツール」

7. セットアップ完了画面が表示されましたら「今すぐ再起動する」を選択して下さい。

※「後で再起動する」を選択した場合は、必ず手動で PC の再起動をして下さい。

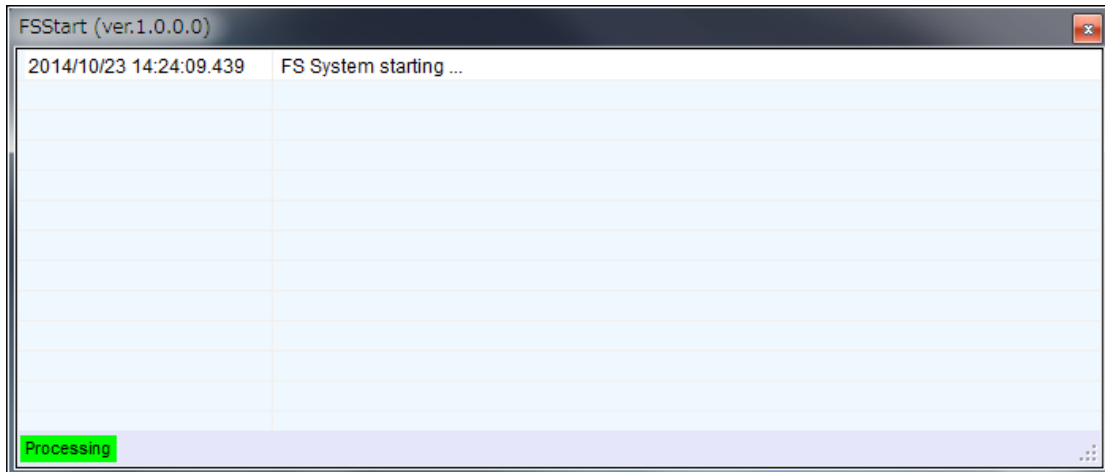


「図7：セットアップ完了画面」

5. システム動作確認

(1) システム起動確認

1. PC 再起動後、「図 1 : FSStart」が表示されることを確認して下さい。



「図 1 : FSStart」

2. 1分~2分ほど待つと「図 1 : FSStart」の画面が自動で閉じることを確認して下さい。

(2) ウェブサイト確認

1. 「スタート」－「すべてのプログラム」－「Flex Signal」－「FlexSignal」を選択して下さい。

「図2：ウェブサイト初期画面」が表示されることを確認して下さい。



「図2：ウェブサイト初期画面」

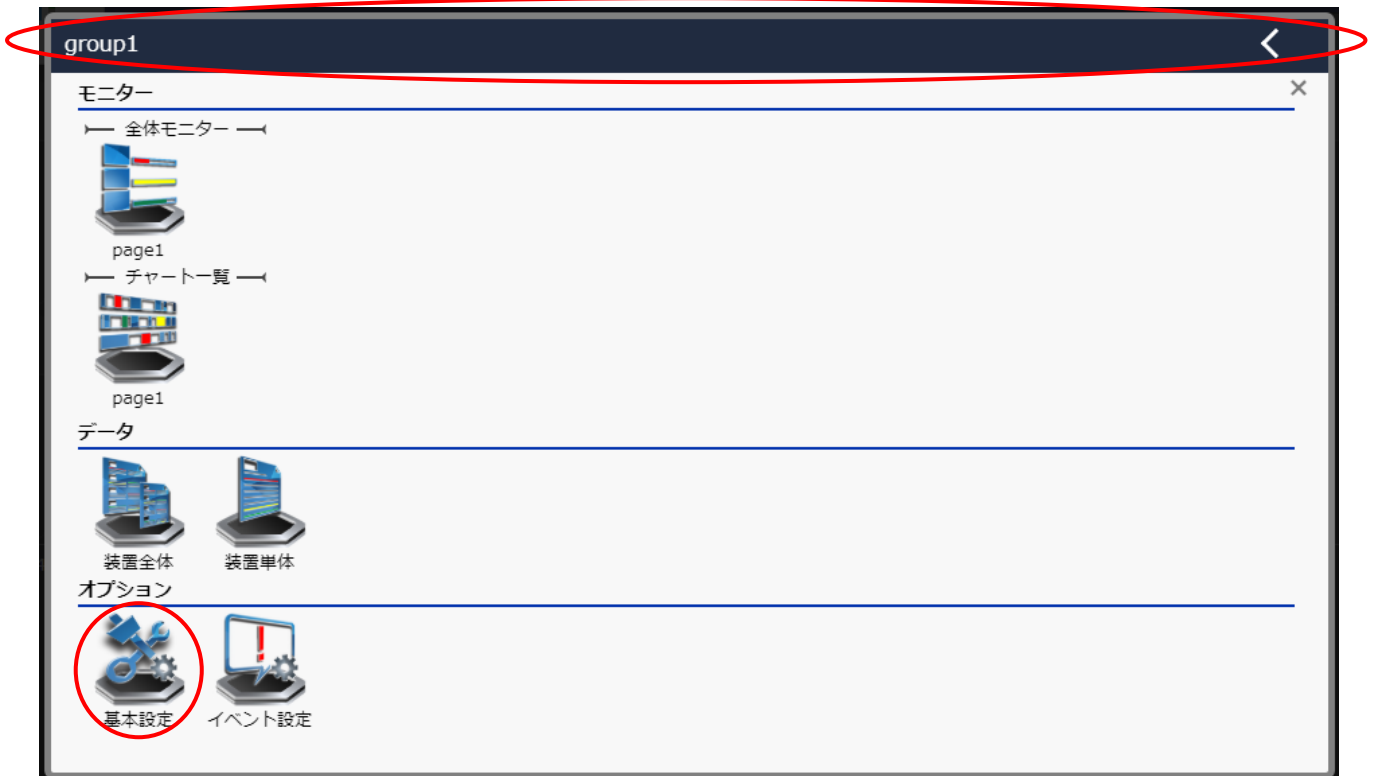
2. FlexSignal をインストールした PC と同一のネットワークにある別 PC から、「http:// IP アドレス/FS」にアクセスして下さい。

※IP アドレスには、FlexSignal をインストールした PC の IP アドレスを入力してください。

例 「http://192.168.0.10/FS」

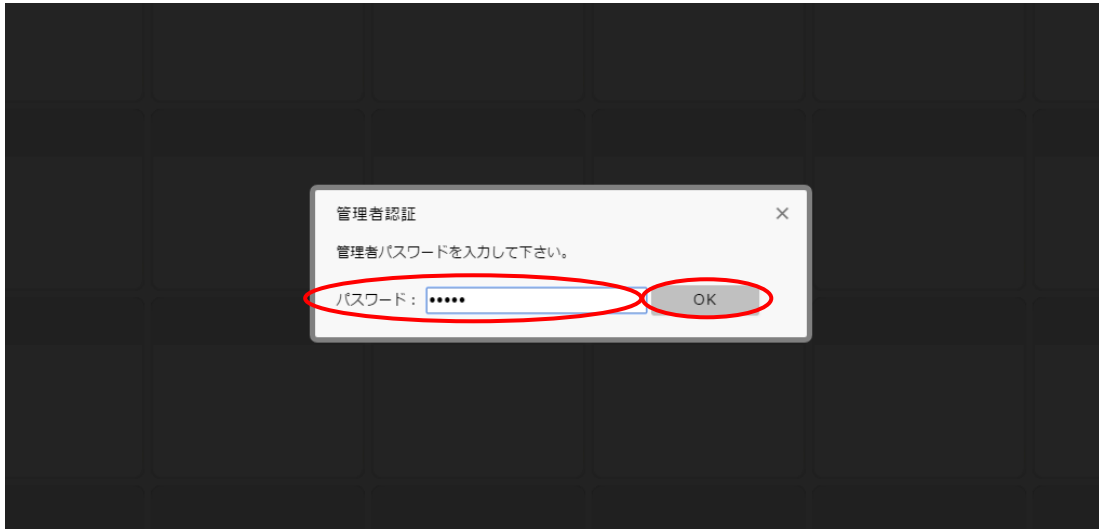
「図2：ウェブサイト初期画面」が表示されることを確認して下さい。

3. ウェブサイト上部の「MENU」 — 「group1」 — 「オプション／基本設定」を選択して下さい。



「図3：ウェブサイトメニュー基本設定選択画面」

4. 「管理認証」の「パスワード」に「admin」を入力し、「OK」を選択して下さい。



「図4：ウェブサイト管理認証画面」

5. 「基本設定」の「登録」を実行して下さい。

The screenshot shows the 'Flex Signal' basic settings page. The interface is in Japanese and includes a sidebar with navigation options like '全体モニター表示設定' and 'ガントチャート一覧表示設定'. The main content area is titled 'Flex Signalの基本的なオプションを設定します。' and contains several sections: '基本設定' (Basic Settings) with fields for '稼働監視' (Operation Monitoring) and '開始時刻' (Start Time); 'モニター設定' (Monitor Settings) with three 'テロップ' (Caption) fields; '管理者設定' (Administrator Settings) with password fields; '日報自動出力設定' (Daily Report Auto Output Settings) with checkboxes and time selection; and 'シフト設定' (Shift Settings) with radio buttons and a table for shift details. At the bottom, there are three buttons: '登録' (Register), 'キャンセル' (Cancel), and '初期設定に戻す' (Reset to Default). The '登録' button is highlighted with a red circle.

基本設定		
管理グループ名	稼働監視	
開始時刻 (起点時刻)	00 : 00 ※初期設定は、00:00です。指定した時刻が午前が午後によって1日の扱いが変わります。 ※例えば09:00を指定した場合、9:00~翌日8:59が1日として扱われます。 ※例えば21:00を指定した場合、前日21:00~20:59が1日として扱われます。	
モニター設定		
テロップ	テロップ1:	
	テロップ2:	
	テロップ3:	
管理者設定		
管理者パスワード	現在のパスワード:	
	新しいパスワード:	(確認入力)
※ 5文字以上の半角文字を指定して下さい。		
日報自動出力設定		
出力有無	<input type="checkbox"/> 自動出力を有効にする	
出力時刻	00 : 10 ※初期設定は、00:10です。指定した時刻に前日の日報が出力されます。	
出力フォルダ		
シフト設定		
シフト種別	<input type="radio"/> なし <input type="radio"/> 定時 <input type="radio"/> 2交代 <input type="radio"/> 3交代	
シフト詳細	シフト名	開始時刻~終了時刻
	シフト1	
	シフト2	
	シフト3	

登録 キャンセル 初期設定に戻す

「図5：ウェブサイト基本設定画面」

6. 画面に **基本設定を登録しました。** メッセージが表示されることを確認して下さい。

Flex Signal MENU 稼働監視

基本設定 Flex Signalの基本的なオプションを設定します。

基本設定を登録しました。

基本設定

管理グループ名 稼働監視

開始時刻 (起点時刻) 00 : 00
※初期設定は、00:00です。指定した時刻が午前か午後によって1日の扱いが変わります。
 ※例えば09:00を指定した場合、9:00～翌日8:59が1日として扱われます。
 ※例えば21:00を指定した場合、前日21:00～20:59が1日として扱われます。

モニター設定

テロップ テロップ1:
 テロップ2:
 テロップ3:

管理者設定

管理者パスワード 現在のパスワード:
 新しいパスワード: (確認入力)
※ 5文字以上の半角文字を指定して下さい。

日報自動出力設定

出力有無 自動出力を有効にする

出力時刻 00 : 10
※初期設定は、00:10です。指定した時刻に前日の日報が出力されます。

出力フォルダ

シフト設定

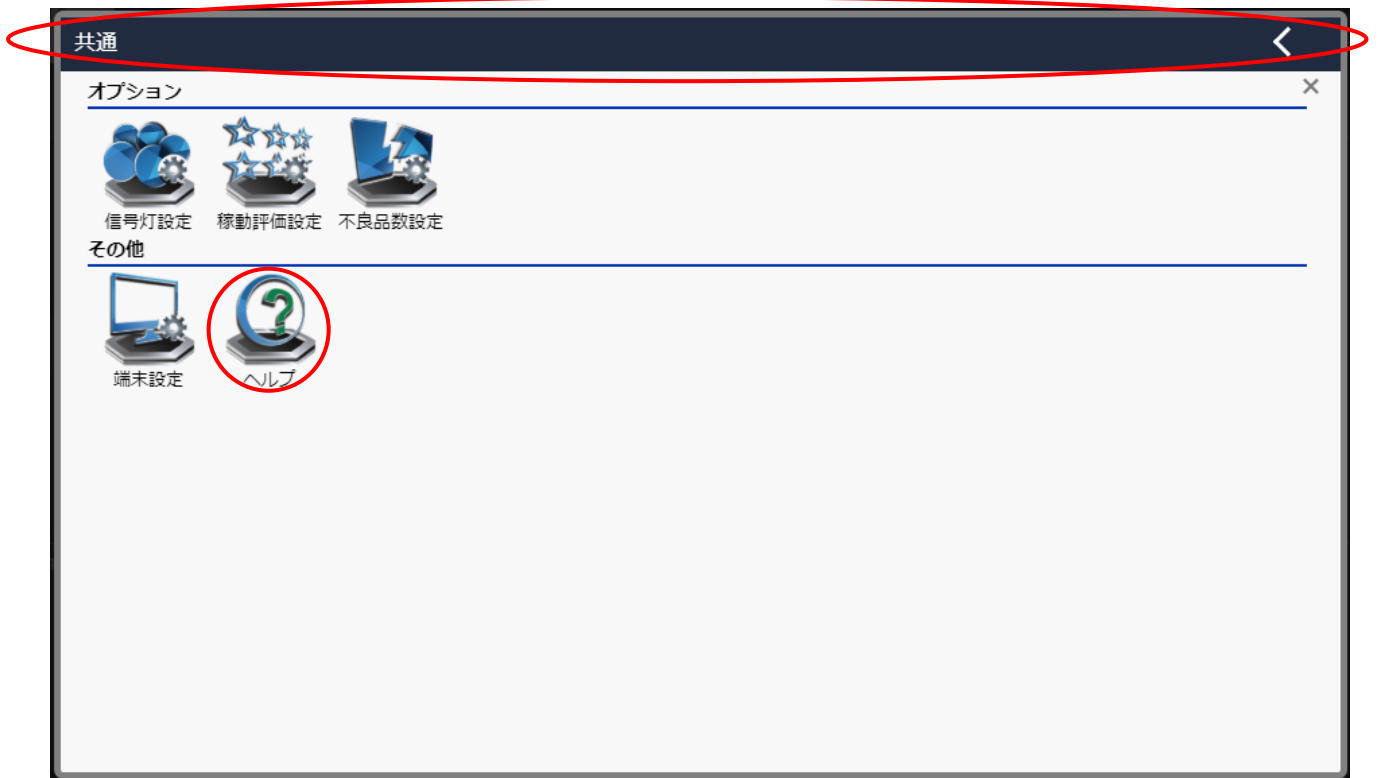
シフト種別 なし 定時 2交代 3交代

シフト名	開始時刻～終了時刻
シフト1	<input type="text"/>
シフト2	<input type="text"/>
シフト3	<input type="text"/>

登録 キャンセル 初期設定に戻す

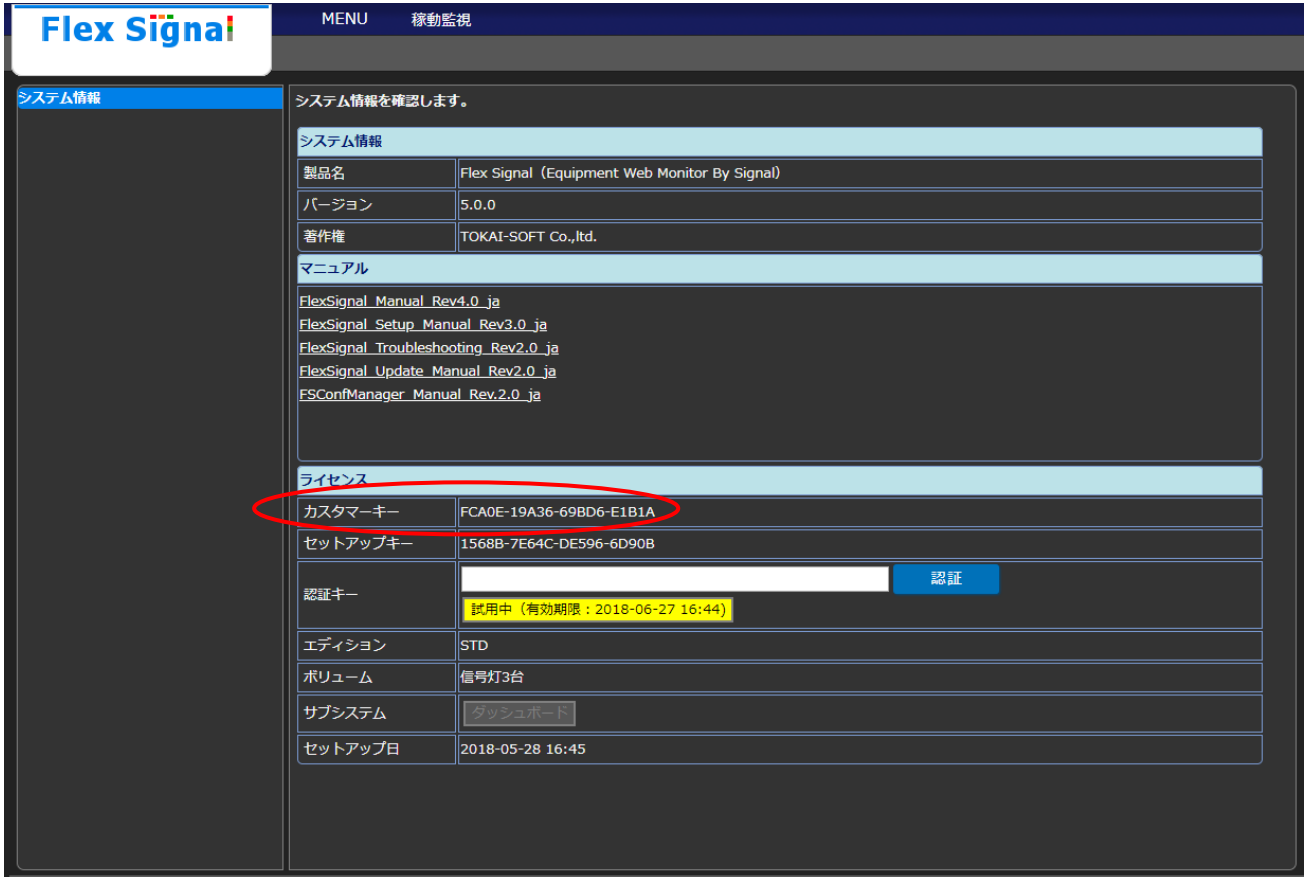
「図6：ウェブサイト基本設定登録完了画面」

7. ウェブサイト上部の「MENU」－「共通」－「その他／ヘルプ」を選択して下さい。



「図7：ウェブサイトメニューヘルプ選択画面」

8. 「ヘルプ」の「カスタマーキー」がライセンス証書のキーと一致していることを、
確認して下さい。



The screenshot shows the Flex Signal system information page. The 'License' section is circled in red. The 'Customer Key' is FCA0E-19A36-69BD6-E1B1A and the 'Setup Key' is 1568B-7E64C-DE596-6D90B. The 'License Key' field is empty, and the status is '試用中 (有効期限 : 2018-06-27 16:44)'.

システム情報	
製品名	Flex Signal (Equipment Web Monitor By Signal)
バージョン	5.0.0
著作権	TOKAI-SOFT Co.,Ltd.
マニュアル	
FlexSignal_Manual_Rev4.0_ja FlexSignal_Setup_Manual_Rev3.0_ja FlexSignal_Troubleshooting_Rev2.0_ja FlexSignal_Update_Manual_Rev2.0_ja FSConfManager_Manual_Rev.2.0_ja	
ライセンス	
カスタマーキー	FCA0E-19A36-69BD6-E1B1A
セットアップキー	1568B-7E64C-DE596-6D90B
認証キー	<input type="text"/> <input type="button" value="認証"/>
試用中 (有効期限 : 2018-06-27 16:44)	
エディション	STD
ボリューム	信号灯3台
サブシステム	<input type="button" value="タッチサポート"/>
セットアップ日	2018-05-28 16:45

「図8：ウェブサイトヘルプカスタマーキー確認画面」

6. ライセンス認証

1. インストール時に使用した「カスタマーキー」とインストールにて生成された「セットアップキー」をご用意して下さい。

※カスタマーキーとセットアップキーは「MENU」－「共通」－「その他／ヘルプ」から確認できます。

The screenshot shows the Flex Signal help screen. The left sidebar has 'システム情報' (System Information) selected. The main content area is titled 'システム情報を確認します。' (Check system information). It contains several sections: 'システム情報' (System Information) with fields for '製品名' (Flex Signal (Equipment Web Monitor By Signal)), 'バージョン' (5.0.0), and '著作権' (TOKAI-SOFT Co.,Ltd.); 'マニュアル' (Manual) with a list of document links; 'ライセンス' (License) which is circled in red and contains 'カスタマーキー' (FCA0E-19A36-69BD6-E1B1A) and 'セットアップキー' (1568B-7E64C-DE596-6D90B); '認証キー' (Authentication Key) with a text input field and a '認証' (Authenticate) button; 'エディション' (Edition) (STD); 'ボリューム' (Volume) (信号灯3台); 'サブシステム' (Subsystem) (タッチボード); and 'セットアップ日' (Setup Date) (2018-05-28 16:45).

「図 1 : ヘルプ画面」

2. メールにて認証キー発行依頼の旨を東海ソフト(flexsignal@tokai-soft.co.jp)までお問い合わせ下さい。必ずメール本文にカスタマーキーとセットアップキーを記入してください。カスタマーキーとセットアップキーを確認後、認証キーを発行します。

3. 認証キー発行後、「MENU」→「共通」→「その他／ヘルプ」画面の認証キー入力欄に、認証キーを入力し、「認証」ボタンを選択して下さい。

ライセンス	
カスタマーキー	FCA0E-19A36-69BD6-E1B1A
セットアップキー	1568B-7E64C-DE596-6D90B
認証キー	<input type="text"/> <input type="button" value="認証"/>
エディション	STD
ボリューム	信号灯3台
サブシステム	ダッシュボード
セットアップ日	2018-05-28 16:45

「図2：ライセンス認証画面」

認証が完了した場合、図2のライセンス認証画面で **試用中（有効期限：2015-10-08 12:14）** となっている部分が **認証済み** に変わります。また、購入したライセンス数が「ボリューム」の項目に表示されていることを確認して下さい。

認証キーを間違えてしまった場合は、再度正しい認証キーを入力して認証してください。

※認証前の「試用中 有効期限」はパソコンにインストールをした日から1ヶ月後の日付が表示されます。

7. 信号灯の設定

Flex Signal 取扱説明書より「信号灯設定」について確認し、設定を行って下さい。

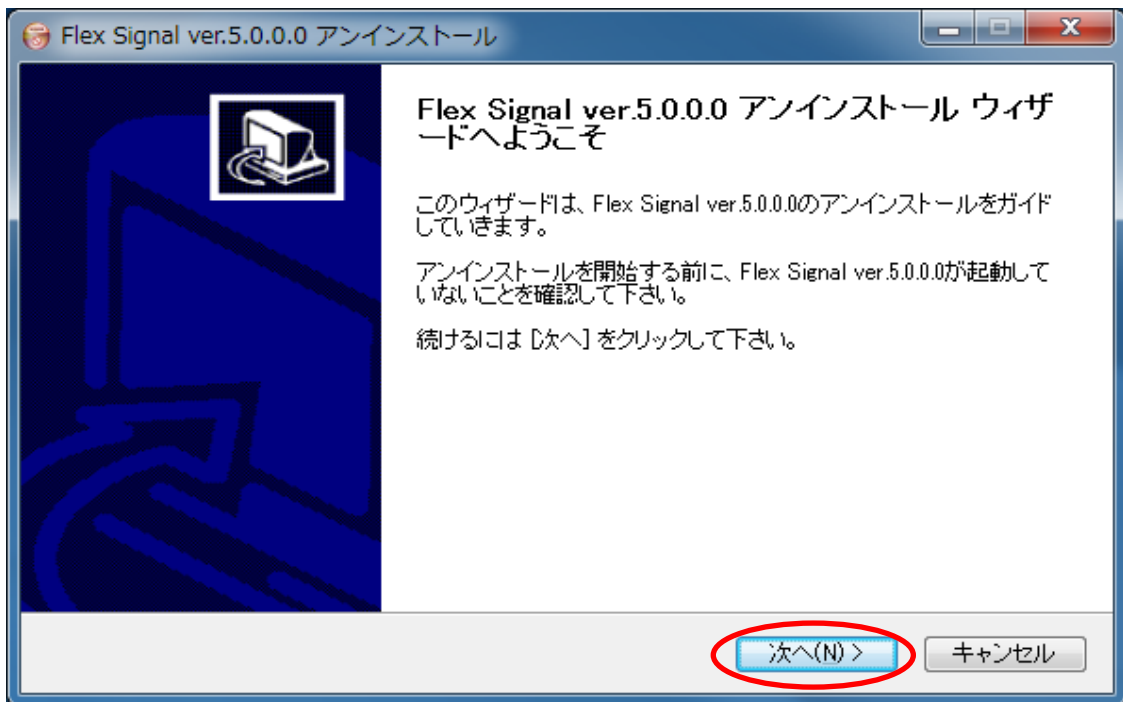
※信号灯設定をされていない場合、データは表示されません。

8. アンインストール

1. 「スタート」－「Flex Signal」の Uninstaller を起動してください。

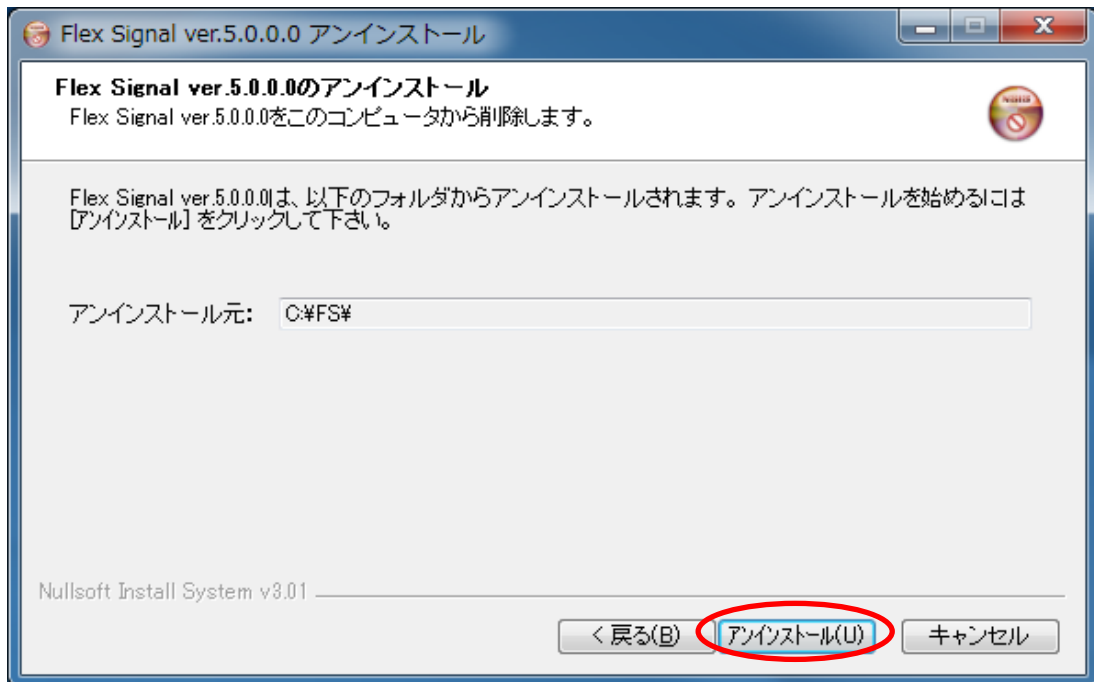
※管理者権限ありのユーザで行って下さい。

2. 「次へ」を選択して下さい。



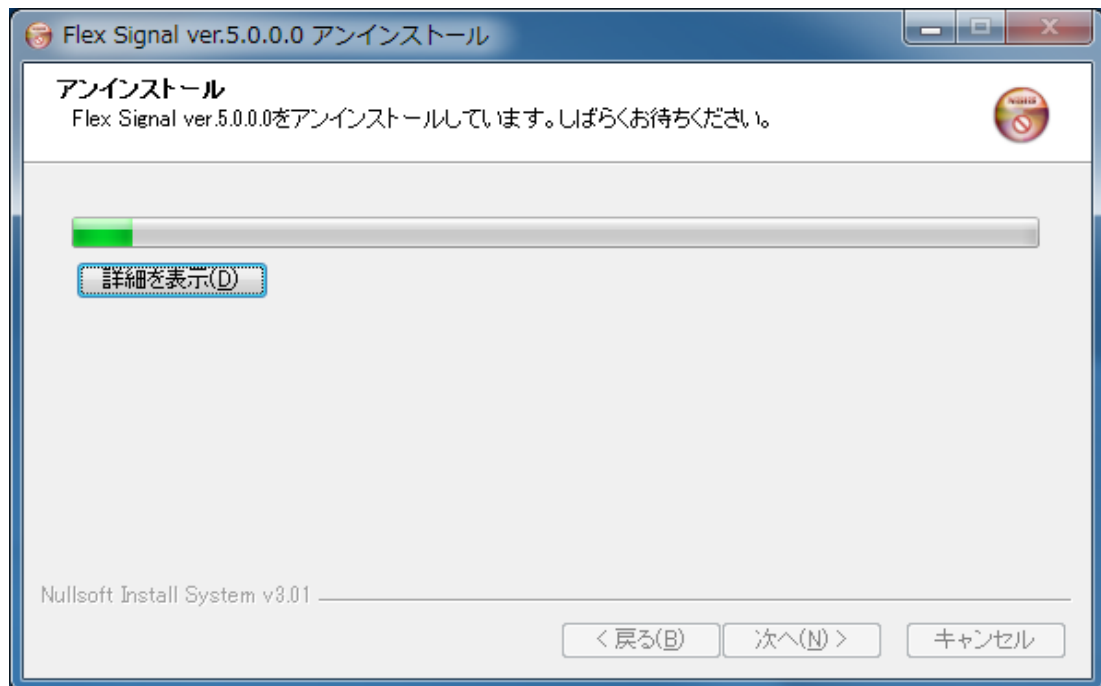
「図1：アンインストール画面」

3. 「アンインストール」を選択して下さい。



「図2：アンインストール先画面」

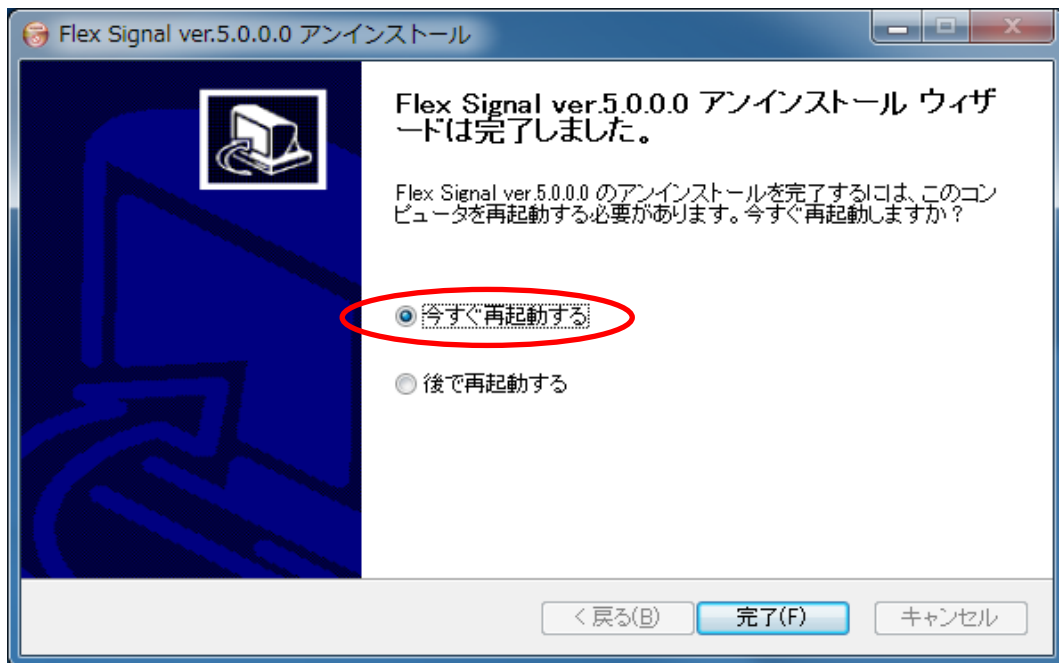
4. アンインストールが始まります。正常に終了するまでお待ち下さい。



「図3：アンインストール中画面」

5. アンインストール完了画面が表示されると「今すぐ再起動する」を選択して下さい。

※「後で再起動する」を選択した場合は、必ず手動で PC の再起動をして下さい。



「図 4 : アンインストール完了画面」

9. よくあるお問合せ

(1) インストール画面の「次へ」が押せない

IIS の設定項目が足りていない可能性があります。

- ① IIS の設定項目を確認してください。

(2) セットアップ完了画面が出てこない

インストール途中で起動する「FlexSignal 受信機通信設定ツール」が起動したままの可能性あります。

- ① FlexSignal 受信機通信設定ツールが起動していないことを確認してください。起動していた場合、「×」と選択し設定ツールを閉じてください。

(3) インストール完了したのにデータが出てこない

信号灯が設定されていない可能性があります。

- ① 別冊「Flex Signal 取扱説明書」の「個別信号灯設定」を参考に信号灯を設定してください。

(4) 認証に失敗する

- ① ライセンス証書のカスタマーキーと FlexSignal のヘルプ画面のカスタマーキーに相違がないことを確認してください。
- ② メールにてお送り頂いたカスタマーキー・セットアップキーと FlexSignal のヘルプ画面のカスタマーキー・セットアップキーに相違がないことを確認してください。
- ③ インストールした PC のネットワークが切断されていないことを確認してください。

(5) 信号灯の設定をしたのにデータが表示されない

受信機とインストールした PC が通信できていない可能性があります。

- ① 受信機とインストールした PC の接続方法が LAN 接続になっていることを確認してください。
- ② 受信機とインストールした PC が通信できていることを確認してください。
- ③ 接続した LAN に対して IP アドレスが設定されていることを確認してください。
- ④ パトライト様のアプリ等が起動していないことを確認してください。
- ⑤ 受信機のポート番号の設定を変更していないことを確認してください。

⑥ 信号灯個別設定の「識別 ID」は手入力ではなく、選択ボタンより表示された対象設備の送信機 MAC アドレスを選択してください。

⑦ 対象設備の電源が ON になっていることを確認してください。

(6) 他の PC から FlexSignal を見たい

① 本冊子 5. (2) ウェブサイト確認の項目 2 をご確認ください。



〒451-0043 愛知県名古屋市西区新道二丁目 15-1
ホームページ: <http://www.tokai-soft.co.jp/>